

令和4年9月12日

報道機関各位

公益社団法人 福井県観光連盟
担当：畑中、佐竹、野路
電話：0776-23-0182
E-mail: noji@fukuioyado.com

県観光連盟が連携協力している「越前海岸盛り上げ隊」が
第15回 産業観光まちづくり大賞「銀賞」を受賞しました

当連盟が観光地域づくりで連携協力している「越前海岸盛り上げ隊」(福井市)が、この度、全国産業観光推進協議会・公益財団法人日本観光振興協会が主催する、第15回 産業観光まちづくり大賞「銀賞」の受賞団体として決定されました。

本表彰は、「産業観光(産業遺産や、現在稼働している工場・工房などを活用した観光)」による観光まちづくりを実践し、他の地域の模範となる優れた事例を表彰する制度で、平成19年度に創設されました。

今回、「越前海岸盛り上げ隊」は、構成している様々な地域事業者による、体験メニュー「海の体験博覧会 うみたん」やコミュニティスペース「はりいしや」の整備等の「面」としての観光産業の取り組み、および観光地域づくりによる移住者の増加とそれに伴う活動の幅の広がり、教育旅行に特化した誘客による成果等が、大きく評価されたことが「銀賞」受賞につながりました。

本賞の表彰式は、令和4年9月23日(金・祝) 14:30~16:00に東京ビッグサイト(東2ホール:Aステージ)にて執り行われます。

当連盟としても、引き続き、「越前海岸盛り上げ隊」による、さらなる「稼ぐ」観光地域づくりの活動に対し、伴走支援を行って参ります。

【参考】

○第15回 産業観光まちづくり大賞 受賞団体

「金賞」 : NPO法人ORGAN 【岐阜県】

「経済産業大臣賞」: (公社) やまなし観光推進機構 【山梨県】

「観光庁長官賞」 : 横須賀市 【神奈川県】

「銀賞」 : 越前海岸盛り上げ隊 【福井県】

「特別賞」 : (一社) 備前観光協会・(一社) みんなでびぜん 【岡山県】

【本表彰に関する「越前海岸盛り上げ隊」のお問合せ先】

コンシェルジュ 松平 裕子 (まつだいら ゆうこ)

TEL: 080-3394-8222

Email: yukomot1107@gmail.com



公益社団法人 日本観光振興協会
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION

NEWS RELEASE

令和4年9月12日
公益社団法人日本観光振興協会
総合調査研究所 担当:安本・近藤
TEL: 03-6435-8333

第15回産業観光まちづくり大賞 受賞団体決定!!

全国産業観光推進協議会（事務局：東京都港区 会長：須田寛）・公益社団法人日本観光振興協会（本部：東京都港区 会長：山西健一郎）では、このほど、第15回産業観光まちづくり大賞の受賞団体として、下記のとおり金賞、経済産業大臣賞、観光庁長官賞など、計5団体を決定いたしました。本賞の概要、及び本年度受賞団体の概要につきましては、別紙をご覧ください。なお、本賞の表彰式は、令和4年9月23日（金・祝）に東京ビッグサイトにて執り行います。表彰式へご参加いただくには、ツーリズム EXPO ジャパンの「来場登録」が必要になりますので、公式サイト（<https://www.t-expo.jp/biz/registration>）よりご登録をお願いいたします。表彰式の詳細については、当協会 HP にてご案内いたします。

<第15回産業観光まちづくり大賞 受賞団体>

- 「金賞」 NPO法人ORGAN 【岐阜県】
- 「経済産業大臣賞」 （公社）やまなし観光推進機構 【山梨県】
- 「観光庁長官賞」 横須賀市 【神奈川県】
- 「銀賞」 越前海岸盛り上げ隊 【福井県】
- 「特別賞」 （一社）備前観光協会・（一社）みんなでびぜん 【岡山県】

金賞

経済産業大臣賞



勝沼醸造テラス



CASA オープニングセレモニー

観光庁長官賞



浦賀レンガドック

産業観光まちづくり大賞は、「産業観光（産業遺産や、現在稼働している工場・工房などを活用した観光）」による観光まちづくりを実践し、他の地域の模範となる優れた事例を表彰する制度で、平成19年度に創設されました。産業観光に取り組む団体、企業等を対象に幅広く募集を行い、産業観光を通して地域振興に寄与しているか、受入側と訪問側に双方のメリットがあるビジネスモデルになっているかなどを主な評価の視点として審査を行いました。

【取組内容】

人口減少や過疎化が顕著に進んでいる福井市の越前海岸沿いの5地区（国見、越廼、殿下、鷹巣、棗）で店を構えるガラス細工業、飲食業、宿泊業、漁業、林業など様々な地域事業者たちが、狭い地区単位ではなく、より大きな枠組みで地域の活性化を進めていこうとの思いで「越前海岸盛り上げ隊」を発足。国立公園越前海岸の恩恵を受けた海の幸、山の幸、豊かな暮らしといった地域の宝物を発掘し、より多くの人と分かち合いながら、次世代へ繋げていきたいとの思いで始まったプロジェクトである。設立当初の平成27年度時の隊員は29名、令和4年度は39名となっている。

地域の若手事業者たち自らが自然を感じる体験メニュー（海の体験博覧会「うみたん」）を24種類造成し提供している他、隊員が連携して農家民宿による教育旅行の受入れを実施。さらに、地域に長期的な関わりを持ってくれるファンとの交流拠点を整備する「人の駅」プロジェクトの一環として、古民家をリノベーションしてコミュニティスペース「はりいしゃ」を整備。ワーケーションや移住の受入れ、ギャラリーでのアート企画展・落語会開催、マルシェの開催などを行ってきた。また、付近のお店を紹介する「トレジャーマップ」の作成などにも取り組み、ホームページを中心にSNS等を活用して地域魅力の積極的に情報発信を行い、最近では、ローカル情報局Podcast番組「つるつるいっぱい浜ラジオ」の配信にも取り組んでいる。

地域一体の魅力を発信しながら、各隊員が行う体験コンテンツによる人の繋がりを重視した施策を展開することで、越前海岸エリアへの人の流れを創出し、地域経済の活性化や、移住定住の促進による地域振興につなげる活動を行っている。

【評価のポイント】

地域内の様々な事業者が連携し、「面」として産業観光に取り組んでいることが高く評価された。活動によって移住者も増え、さらに活動の幅が広がっており、まさに産業観光による「まちづくり」が行われていることから、他地域への推奨モデルに成り得るとして、銀賞に選定された。

（審査員からのコメント）

- ・平成27年以降、地域の連携、移住者との協力により、着実にまちづくりが進展している点を評価したい。
- ・移住されてきた方と、地域の方による有機的な取組であることを評価する。また、様々な職種のみなさんの得意を組み合わせ、いろいろな活動を実施していることも興味深い。人口5,000人台の小さな地域に、4年間で10事業者、15人の移住者があり、その中から体験メニューが作られ、新しい産業が生まれ、9件の修学旅行受入れなど、成果が上がっており大変興味深い。若い人たちが楽しみながら地域の暮らしを豊かにするための取組が、心地よく感じた。
- ・学生の教育旅行に特化した誘客を行っており成果が出ている点が評価できる。また、これらの活動をきっかけとして移住者が増えている点も評価できる。



タコかご漁体験